

株式会社 松屋 8月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-1.2	<p>8月の銀座店の売上高は、前年比▲0.6%となりました。国内外のデザイナーを軸とした高価格帯の婦人服や、海外のラグジュアリーブランドは引き続き好調に推移、また、梅雨明け後、後ろ倒しとなっていた盛夏物商戦の中において、帽子やサングラス等の盛夏雑貨アイテムの好調も加勢し館全体の売上を牽引いたしました。国産アパレル等を中心としたボリュームゾーンの趨勢は依然弱く、銀座店の売上高は前年を僅かに下回りました。</p> <p>免税売上高につきましては、化粧品の売上高が前年を割る(前年比▲2.2%)等、海外からお客様の買上動向の変化も見られました。前年に対して土日祝日+2日増の店全体への影響度合いは0.9%増、お盆休み等のオケーションを利用し銀座へ来街された国内のお客様(免税売上高を除いたお客様)の売上高は2.4%増になる等、全体としては天候不順による影響でやや苦戦した7月の売上を挽回する勢いを見せながらも、免税売上高の前年割れも一要因となり、売上高は僅かに前年に届きませんでした。</p> <p>8月の浅草店の売上高は、前年比▲8.8%となりました。浅草店の主力となる食品部門の苦戦が要因となり、店全体の売上高は前年を下回りました。</p>

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

☆「8月売上報告」は、9/13(金)15時に開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	-0.6	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-8.8	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。